

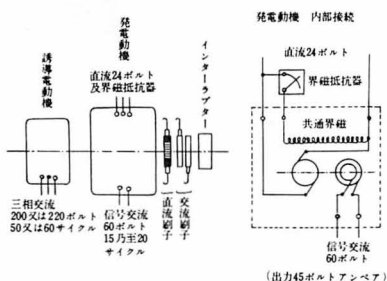
設置される機器としては、電話・連絡高声電話装置・照明軌道盤・接近表示器・限時解錠器・時計等である。平面計画にあたっては、連動機を置く方向、および以上の機器を合理的に配置し、作業スペース・保守作業用スペース（最低75cm）・通路空間・出入口前空間を確保しながら、最小面積をとらねばならない。（藤島 茂・尾松広一）

しんごうがかり 信号掛 駅におかれる戦で、運転掛の指揮をうけて信号機・連動装置・双信閉塞（へいそく）器・通信閉塞の取扱をするものである。職員養成所の信号操車科を修了したものの、または信号掛採用試験に合格したものから採用する。（加藤 誠次郎）

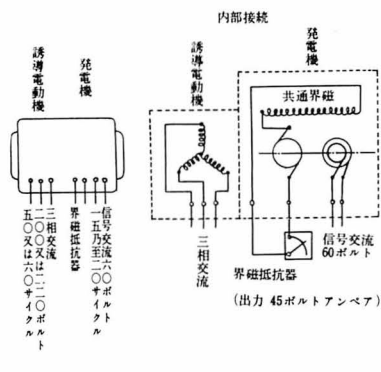
しんごうきてんき 信号起電機 手動式および自動式電話交換機の信号電源として使用されるもので、電池から発生する直流を自動的に電話信号用交流に変える装置と、交流電源により運転し電話信号用交流を発生する装置に分けられる。

電池を電源とするものに自動転極器・断続器などがあり、いずれも普通磁石式交換機の設備台数の少ない場所に用いられている。

交流を電源とするものに甲型電話信号起電機・乙型電話信号起電機がある。前者は主として共電式交換機の信号電源として使用され、その構造は誘導電動機と発電電動機とを組合わせ、平常は誘導電動機で運転し、発電電動機の直流側は配電盤の交流継電器で開放され、回転子の直流巻線は単なる励磁用となっている。交流電源が停電した場合は、発電電動機が交流継電器の接点により直流に接続され、回転子の直流巻線は電動機として運転され、共通界磁により信号用交流を発生する（図-1）。後者は主として磁石式交換機の信号電源として使用するもので、直流運転ができないことを除けば甲型電話信号起電機と同じである（図-2）。

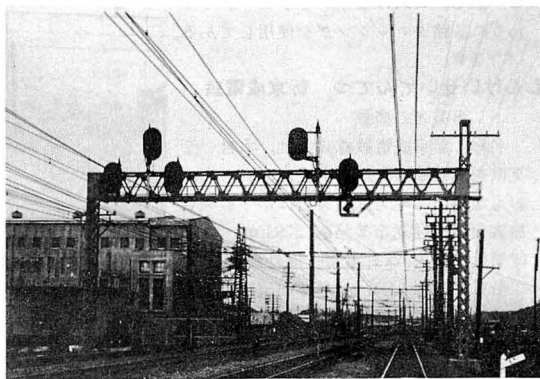


2. 乙型電話信号起電機



400c/s・133c/s発生用の発電機を持っている。（西野敏男）

しんごうきょう 信号橋 (英) signal bridge (独) Signalbrücke (仏) pont du signal 並列した線路の数が多く、それに伴ってそれぞれに信号機を必要とするときに、建築限界などの関係で建植の場所がないとか、ブラケット型にしても信号



信号橋

機が多すぎる場合、それら多数の線路にまたがり橋を作り、その上に各所属線の真上に当該信号機を設けたもの。シグナルブリッジともいう。色灯式信号機では、このブリッジの下部に懸垂型として取付けることもある。（西沢 毅）

しんごうく 信号区 国鉄の鉄道管理局の現業機関。おもな担当業務は信号保安設備の保守および施工である。

管理部門における信号通信関係業務の一元的組織化に対応し、現業におけるこの業務の責任体制を明確にし、これを能率的・合理的に運営するために信号通信区が設置されたときに、信号関係業務を専管する機関として設けられたものである。従来保線区で担当していた機械信号関係業務は、支線区のようにその業務量の少ない地区を除いては、すべて信号区または信号通信区で担当することになった。

その数は9で東京、大阪、門司その他の3鉄道管理局のうち、信号設備の密集地に置かれている。信号区長が置かれ、鉄道管理局長の指揮を受けて助役、信号分区長、事務掛、用品掛、技術掛、信号保安掛、信号保安手、自動車運転士、用品手および雑務手を指揮監督し、信号区に属する一切の業務を処理している。これらの職員を信号区従事員といい約1,800人いる。（宮坂正直）

しんごうけっせんず 信号結線図 連動装置の制御または連鎖（鎖錠）関係を表わすために作製する図。その書き方には2通りあり、1つは符号結線図といい、一般電気結線図と同一方法で機器配置・配線の本数およびその方法を実際に近付け、図面

符号結線図と記号結線図との比較

